

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 8 月 25 日 (2011.8.25)

【公開番号】特開 2010-132736 (P2010-132736A)

【公開日】平成 22 年 6 月 17 日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報 2010-024

【出願番号】特願 2008-308068 (P2008-308068)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

H 0 1 B 1/20 (2006.01)

H 0 1 B 1/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/16 (2006.01)

B 3 2 B 27/18 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

H 0 1 B 1/20 A

H 0 1 B 1/00 E

H 0 1 B 5/16

B 3 2 B 27/18 J

H 0 1 B 5/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保護物質 (A) によって被覆された導電性物質 (B) と、1 ~ 4 個の水酸基を有する炭素数 1 ~ 9 の化合物 (C) とを含む導電性インキ。

【請求項 2】

1 ~ 4 個の水酸基を有する炭素数 1 ~ 9 の化合物 (C) が、炭素数 1 ~ 9 の一価アルコール、多価アルコール、または、グリコールエーテルである請求項 1 記載の導電性インキ。

【請求項 3】

導電性物質 (B) が、平均粒子径 0.001 ~ 10  $\mu$ m の導電性微粒子である請求項 1 または 2 記載の導電性インキ。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の導電性インキから形成される導電層 (D) と、保護物質 (A) に対するイオン交換能を有する物質 (E) を含むイオン交換層 (F) と、の積層によって、導電層 (D) から形成されることを特徴とする導電性被膜。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の導電性インキと、保護物質 (A) に対するイオン交換能を有する物質 (E) とを含む組成物から形成されることを特徴とする導電性被膜。

【請求項 6】

基材上に、請求項 4 または 5 記載の導電性被膜が設けられてなる導電性積層体。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また本発明は、1～4個の水酸基を有する炭素数1～9の化合物（C）が、炭素数1～9の一価アルコール、多価アルコール、または、グリコールエーテルである上記導電性インキに関する。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】